

光と風の大地

～北海道550万人と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」～



戌年企画
ワンだふるファミリ～
～共立地区的森脇さんとサクラ、大友さんとマルス～
(紹介は12ページ)

2018.12
No.
540

味覚勢ぞろい

権“菜”開く!!



常呂産 秋の

第9回 JAとごろ収



常呂町農業協同組合発足70周年の節目

生産力の高い本町農業に必要なこと



常呂町農業協同組合

副組合長
江田哲

自然災害に耐える 基盤づくりセミナー

本年度は常呂町農業協同組合発足70周年の節目の年でした。先人達が苦労し築き上げた基盤で當農出来る喜びを感じながら進められた常呂農業の1年を振り返ってみます。

冒頭に7月上旬2度にわたる大雨での気象災害被害、9月に起きた胆振東部地震によるフラックアウトで被害を受けられました組合員の皆様へお見舞い申し上げます。

物全般の生育が停滞しました。7月には台風7号、1週間後の前線により、2度にわたる農地への冠水、浸水など30.7haの被害を受けてしまいました。7月後半から高温干ばつ気味でありましたが、好天に恵まれ順調に小麦収穫作業が進み、その後の天候も安定し各々作物の収穫作業、秋小麦播種作業が順調に進みました。主要作物の出来秋を見ますと秋播小麦はきたほなみ全量1等で9・4俵／10a、ゆめちから1等で8・6俵／10a、春播小麦は2等で4・2俵／10aとなりました。馬鈴薯については、小玉傾向の状況で計画対比97・8%となりまし

た。玉葱については、肥大期の降雨により生育が進み4・6基／10a、計画対比105%となりました。小豆については6月の低温が生育に影響し、3・1俵／10aで計画対比83%となりました。ニンニクについては春からの順調な生育により、605kg／10aとなりました。酪農については天候不順などの影響もあって生乳4,000tで計画対比93・3%となりました。

です。しかしながら生産力の高い、本町農業基盤から見ると満足する結果ではありますんでした。

今後においては、災害に強い土地基盤整備、体力のある土作りに重きをおく常に高収益がある効農に取り組む必要があります。

なければと思っております。
今後ともご協力をお願ひいた
します。



昨今の農業情勢については、TPP11、日EU・EPAの発効や日米間の新たな貿易交渉が迫るなど、国際貿易交渉による国内農業への圧力が絶えません。今後の不透明な状況に打ち勝つには、農協組織の搖るぎない基盤のもと、協同活動へ今以上の結集を図り、持続可能な常呂農業を確立していくなければなりません。その為にも、組合員皆様から貴重なご意見を頂き、役職員一丸となって取り組んでいか



開会宣言をする飛田会長

札幌市の「コンベンションセンターホール」で11月13日、第29回JA北海道大会が開催され、全道からJA関係者約2,000人が結集。JAところからも川上和則組合長を始め、JA全役員や青年部及び女性部代表など16人が参加しました。

大会実行委員長を務めたJA北海道中央会の飛田稔章会長は、「メインテーマの『力強い農業』は、道の基幹産業である農業を日本の食糧供給基地を担うためにふさわしい所得を確保し持続可能な産業とする」と。『豊かな魅力ある農村』は、消費者と地域住民

とのつながりで心の豊かさと誇りを実感できる農村にすることである」と冒頭の挨拶で述べました。

本大会では、農業所得増大や担い手の育成、サポート一層さらに加え、新たな基本目標「時代に即した協同組合の価値創造」を含む議案を決議し、メインテーマの「北海道550万人と共に創る力強い農業と豊かな魅力ある農村」の実現を目指すことを誓いました。最後には、北海道地震など災害からの復旧・復興に向けた特別議決も採択され終了しました。



開会宣言をする飛田会長

JA北海道大会の開催前に行われたパネルディスカッションでは、当JAの小野寺会長がパネリストとして語る「魅力ある農村」を！

（小野寺俊幸会長がパネリストとして語る）

JA北海道中央会の開催前に行われたパネルディスカッションでは、当JAの小野寺会長がパネリストとして語る「魅力ある農村」を！

（小野寺俊幸会長がパネリストとして語る）

JA北海道中央会副会長の立場でパネリストとして参加。常呂町での連携実例を語るなど、他のパネリストと意見を交わし、その活動の手法などを探りました。

JA北海道中央会副会長の立場でパネリストとして参加。常呂町でJAと漁協が連携していることを報告し、「協同組合同士が地域を守っている」と訴え、「JA組合員は消費者でもあり、活動では生協からいろいろと学ばなければならぬ。農業だけの目線では

長が「多様化する組合員」一員組織について、組合員の暮らしや価値観の多様化に合わせて活動が変わってきている。共働きの世帯や高齢者なども参加しやすい仕組みなどを工夫していく」との説明を行いました。

小野寺会長は、北見市常呂町でJAと漁協が連携していることを報告し、「協同組合同士が地域を守っている」と訴え、「JA組合員は消費者でもあり、活動では生協からいろいろと学ばなければならぬ。農業だけの目線では

「北海道550万人都市に共に創る力強い農業と豊かな魅力ある農村」の実現を！

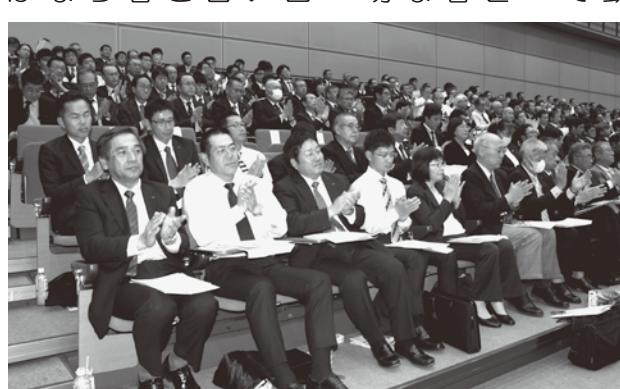
～第29回JA北海道大会に全道から結集～

務理事は、

なく、多様な意見をひじまでJAが取り入れられるのかに

尽くる」と話された。

最後に「コーディネーターを務めた北海学園大学の宮入隆教授は、「協同組合に集まるからこそできることを整理する」というが価値創造につながる」と述べて終了しました。



特別議決においても拍手で承認し採択されました

管理部課長視察研修で知つた ベトナム研修生派遣事情

— 管理部長 内匠 英樹 —

られました。
今後、外国人研修生を取り巻く情勢は大きな変化を見せており、研修先としての農業分野への規模は益々拡大していくと思われます。当JAとしても将来的に外国人研修生を入れについて検討していくことが必要になるのではないかと感じました。

当JAとしても将来的に外国人研修生を入れについて検討していくことが必要になるのではないかと感じました。

10月に管内管理部課長視察研修としてベトナムを訪問しました中で、日本へ研修生を数多く送り出している企業の取り組みについて報告します。

ベトナムは、労働力（人手）は日本と同規模であるものの技術力が不足している状態にあります。

今回訪問したエスハイ社は、同社創業者であるレロン・ソン社長が、日本留学の経験

から先進国としての日本の技術や、仕事に対する考え方には影響を受け、国の発展のために技術を高める必要があり、その技術を習得するため日本での研修で人材を育成し、帰国後国内にて活躍することで国の発展に繋がるとの考え方で同社を設立しました。

限られた期間の中で育成を

図るために、優秀な人材を同社

に併設されている「KAIZEN ZEN吉田スクール」で事前研修を行い、日本に送り出しています。研修では①仕事に活かせる日本語教育、②ビジネスマナー、③キャリア意識教育を行っています。

学校には下駄箱や分別ごみ箱が設置されるなど、勉学以外にも日本の文化、ルールの習得のための取り組みがみられました。

最後に、今年から来春にかけて北海道のJAで研修を受ける11人の学生と意見交換を行いました。北海道の気候や食事などについて熱心に質問

回校には「お金を稼ぎたい」との考え方だけの人材より「将来自分の仕事や人生に役立つように日本企業でしっかりと経験、知識を獲得し貢献したい」との意識を持った人材が集まっています。こちらからの質問に全員が一齊に手を挙げるなど意欲を持つて受講していると感じました。

帰国後の就業状況は研修経験と習得した日本語の知識を活かし、日系企業からも厚遇で採用されています。しかし、日本で習得した研修分野への就職は2割程度と、仕事の受け皿となる企業がまだ少ない状況にあるとの印象を受けました。

がされ、短期間の授業で習得

したとは思えないほどの日本語力に驚かされました。若い層のベトナム人の学業への姿勢が今の日本の学生とは大きく異なっているように見受け



● KAIZEN吉田スクールでの事前研修の様子



● 北海道のJAで研修を行う予定のベトナム学生と意見交換が行われました





選果の様子に興味津々



●ポテトハーベスターの前で一緒にハイ!チーズ

JJAとこの青年部は11月14日、JJAとこの玉葱選別工場で常呂町内3つの小学校（常呂、川沿、錦水）合同で、3年生と4年生を対象にした「食育事業」を実施し、児童52人が参加しました。

今年度は玉葱と馬鈴薯を中心とした授業として7月にも開催しており、秋開催の今回は、玉葱選別工場で玉葱の選果作業の見学を行いました。工場案内は施設コントラ課の佐藤孝課長が行い、児童は玉葱がライン上で選別される様子や倉庫内に積み上がった玉葱コンテナを見て、驚いた様子でした。

また、敷地にはグリメ社製の自走式ボテトハーベスターの展示が行われ、あまりの大ささに喜ぶ児童がいました。「玉葱の量がたくさんあって驚いた」「じゃがいもが大きな機械で収穫されててすごいと思った」など、児童は初めて見る機械の大きさに驚嘆していました。

オホーツクJJA青年部協議会は11月8日、温根湯温泉大江本家で第48回オホーツクJJA青年部研修大会を開きました。大会には管内の盟友117人、来賓7人が集まり、当JA青年部からも所尚玄部長をはじめ、役員6人が参加しました。

開会式後、『リーダーに期待すること』と題してオホーツクJJA組合長会会長でJJAこしみず代表理事組合長の佐藤正昭組合長が講師となつて講演。持ち合わせたリーダーの姿や、組織の結束とリーダーシップの重要性、良き経営者に必要なことなどを話されました。

午後からは、『これからの中青年部に必要なこと』と題して元北海道農協青年部協議会会長、元全国農協青年組織協議会（全青協）会長の黒田栄繼氏が講師となつて講演。全青協会長を務めた時の政界や経済界の状況、農業補助金の活動などが

誤解、世論に理解される繋がりをつくること、自らの組織を自らで考える土壤を作るとの必要性を訴えました。

その後、各単組に分かれ、自指すべき青年部活動に関するグループディスカッションを行ない、今後の青年部活動に対するべき姿への行動などを討議しました。

大会ではこの他、青年部

青年部

児童52人

自動選果に驚き!

ステップアップ!! 新たなステージへ

オホーツクJJA青年部協議会は11月8日、温根湯温泉大江本家で第48回オホーツクJJA青年部研修大会を開きました。大会には管内の盟友117人、来賓7人が集まり、当JA青年部からも所尚玄部長をはじめ、役員6人が参加しました。

開会式後、『リーダーに期待すること』と題してオホーツクJJA組合長会会長でJJAこしみず代表理事組合長の佐藤正昭組合長が講師となつて講演。持ち合わせたリーダーの姿や、組織の結束とリーダーシップの重要性、良き経営者に必要なことなどを話されました。

午後からは、『これからの中

青年部に必要なこと』と題して元北海道農協青年部協議会会長、元全国農協青年組織協議会（全青協）会長の黒田栄繼氏が講師となつて講演。全青協会長を務めた時の政界や経済界の状況、農業補助金の活動などが

誤解、世論に理解される繋がりをつくること、自らの組織を自らで考える土壤を作るとの必要性を訴えました。

その後、各単組に分かれ、自指すべき青年部活動に関するグループディスカッションを行ない、今後の青年部活動に対するべき姿への行動などを討議しました。

大会ではこの他、青年部

発表され、参加した部員が自分たちの青年部活動を魅力あるものにするために考えた意義な研修大会となりました。



●青年部組織綱領を朗唱する部員の皆さん

JICA視察団 研修受け入れる



メモを取つて熱心に聞く研修員

岐阜地区的寺町敬子さんは、11月1日、NPO法人 国際農民参加型技術ネットワークの協力の下、独立行政法人国際協力機構（JICA）筑波国際センターが実施した「中南米地域 生活改善アプローチを通じた持続的農村開発」を受講した中南米出身の研修員ら11人の視察団を受け入れました。

同コースは、住民自らが生活上抱える課題を見つけ、有効資源を活用し、主張的に解決策を考え実行する「生活改善」の考え方や手法を学ぶための研修です。同研修では、加工室の見学後、寺町さんがジャムづくりを始めたきっかけで、困難を乗り越えた話、女性農業者へ向けた農業の考え方などの話がありましたが、寺町さんは

「農業は宝箱…。いろんな発見、いろんな感動が詰まっている。農業を楽しむためにはまず知ること、学ぶことから始めよう」と話してくれました。研修員の男性は「私たちの国でもたくさんの宝箱はあるはず、それに気づくことができるかどうか、問題を前向きに」とうるる考え方が非常に印象的でした」と話しました。

農業経営や精神面の維持についてなど多くの質問・意見が出され、熱心な様子で研修を行つていきました。



研修に参加した皆さん(2列目左から3番目が寺町さん)

農産物を生産する過程で使用する農ビ・農ボリ・農薬空容器などを適正に回収することが義務化されている中で、本年2回目の廃フリ回収が11月16日に当JIA岐阜1号倉庫で行われました。今回、69戸の組合員皆さんが農肥料19,868kg、農ビ3335kg、育苗箱313kg、農薬空容器3,750kg、農薬空袋231kg、エレメント容器15kgが回収されました。



組合員皆様のご協力により適正に回収されました

クリーンな環境づくりを目指す

秋も中盤に差し掛かり寒さが身に沁みるようになつた10月29日、農協川東牧場で酪農家と北見市常呂総合支所産業課の協力の下、若牛たちの退牧が行われました。

当牧場では、5月21日から酪農家の育成牛を預かり、飼育管理に努めてきました。栄養

たっぷりの草が繁つた放牧地で、入牧した頃とは見違えるほど逞しく成長した若牛86頭はトラックに乗り、約5カ月ぶりに我が家のか牛を預けていた土佐地区の山浦靖人さんは「大きく育つて帰つてきてくれた」と笑顔で話しました。



笑顔で牛を引つぱる大江さん(右)

”逞しい姿“で我が家へ、86頭が退牧

JJAといいは、11月17日から18日の2日間、東京都練馬区の光が丘公園で開かれたJA東京あおば主催の第21回農業祭に出店しました。昨日とも晴天に恵まれ、JAところのブースでは、玉葱や小豆などの農産物、玉葱スープやレトルトぜんざいなどの加工品を求め、たくさんのお客様に足を運んでいただきました。

ラジコンヘリ防除行われる

JJAといい（川上和則組合長）は、11月7日～8日の計2日間、秋まき小麦雪腐れ病防除を行いました。

ヘリコプター防除は、月形町の新富地区防除組合、株式会社コハタに委託し実施しました。

防除作業は37戸と1団体からの申し込みがあり、防除面積は約2228haとなりました。



オペレーターの正確な操作でヘリ防除が行われました

JJAといい（川上和則組合長）は、11月7日～8日の計2日間、秋まき小麦雪腐れ病防除を行いました。

次年度も出店し、北海道常呂産の農産物を大都市の消費者にPRする予定です。

来店したお客様は「昨日食べて美味しかったから、今日も買いに来てしまった」と笑顔で話してくれました。お客様に足を運んでいただきました。

太都市で常呂産農産物をアピール！



商品説明を行う販売課の山田職員(右)

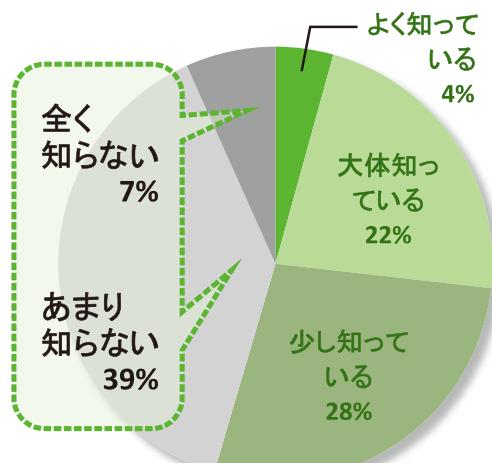
JAに集う意味

Vol.3

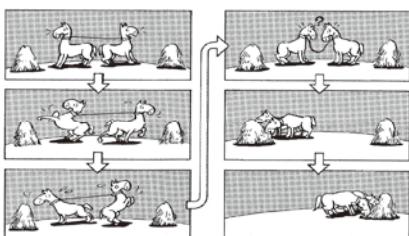
今、協同組合(JA)が直面する現実 ~JAは取引先の一つか?~

○先述したような協同組合(JA)は、組合員(農業者)自らが出資したお金で、JAを運営し、事業を利用するにより、自らの営農生活を向上させるものであるものの、組合員の世代交代とともに、JAと株式会社の違い、JAの存立意義に対する理解が継承されず、「JAは取引先の一つ」と思う組合員が増え、「組合員の顧客化」が進んでいる。

JAの存立意義や株式会社との違いについて、どの程度知っているかをあるJA青年部の部員にアンケートを実施した



JAの総会冊子にある
ロバの絵はもう古いのでは?



父さんのようにJAの事業方針に
積極的に意見を言うのは面倒だなあ…

条件をみながらJAと取引するかを
決めた方がよいのでは?

JAとところ年末年始業務日程のお知らせ

■休業日

区分	平成30年										平成31年									
	23	24	25	26	27	28	29	30	31		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木		
農協業務	天皇誕生日	振替休日	平常	平常	平常	平常					平常				平常	平常	平常	平常	平常	平常
本所キャッシュコーナー			平常	平常	平常	平常					平常				平常	平常	平常	平常	平常	平常
常呂厚生病院キャッシュコーナー			平常	平常	平常	平常					平常				平常	平常	平常	平常	平常	平常
事務所・資材課店舗			平常	平常	平常	平常										平常	平常	平常	平常	平常
共同給油所			平常	午前中▲					午前中	平常		平常	平常	平常						
普及センター				平常	平常	平常	平常					平常				平常	平常	平常	平常	平常
農民同盟				平常	平常	平常	平常										平常	平常	平常	平常
共済組合	本所事務所																	仕事始め		
家畜診療所											当番制（急患畜の対応は当番獣医が行います）									
人工受精所										●	●	■	■	■	●	●	●			

▲印…配達業務は休業

●印…人工授精受付時間 午前：8時30分まで、午後1時まで

■印…午前：8時30分までの1回受付とします。（午前のみで午後は休み）

人間ドックを受診しましょう！

3大死亡原因である「がん・心臓病・脳卒中」は早期発見が重要です。JAとところでは、30歳以上の受診者を対象に基本検査の半額助成を行っています。健康維持のため、必ず年1回の受診を行いましょう！年末年始は大変混み合いますので、早めの申込みをお願いします。

お申し込みは、管理課まで

〈訂正とお詫び〉

11月号で表紙説明の内容に誤りがありましたので訂正致します。

誤：豊川地区的守屋則明さんとコマチ（♀）、江田フクエさんとジョン（♀）
→正：富丘地区的守屋則明さんとコマチ（♀）、豊川地区的江田フクエさんとジョン（♀）

ご愛読頂いている皆様にご迷惑をお掛けしたことを心からお詫び申し上げます。今後も引き続き「光と風の大地」をよろしくお願い致します。

常呂町産業振興公社からのお知らせ

12月より営業時間が変更になります

- 12月～3月まで…9時～17時
- 土曜、祝日…休業

■営業時間などでわからぬ事がありましたら(54-3308)までご連絡ください。



近年では、兄弟が結婚し甥っ子が生まれ家族も増えたため、今後も恒例行事として家族が集まれたらいいなーと思います。

りました（笑）

私は、幼い頃から楽しみにしている毎年恒例の行事があります。それは、年に2回お盆とお正月に身内16人程が集まることです。お盆には、屋外にテントを張つて流しうめんやBBQを行い、お正月はおせちを食べた後に夜遅くまでみんなで様々なゲームをやって盛り上がりります。特にbingo大会は皆楽しみにしており、年々景品の数が増え続けて、16人で3回bingoをやつても景品が無くならないということありました（笑）

施設コントラ課

井田 悠稀

「年に2度の楽しみ」

ちふと発信
JAマンコーナー

発信No.59

J A職員からのオススメを
ジャンルにこだわらずに
紹介するコーナーです。

大量的景品と一緒に姉弟で
仲良くピース(真ん中が井田職員)

第9回理事会報告

1. 役員規程の一部改正について

原案の通り改正することで承認されました。

2. 職制規程の一部改正について

原案の通り改正することで承認されました。

3. 固定資産の取得について

次の固定資産を取得することで承認されました。

○名称 土地・集合住宅2棟

○名称 麦乾燥工場 S54地下タンク交換

○名称 芋・玉葱用スチールコンテナ
1,000基

4. 平成30年産生食加工馬鈴薯の仮渡金について

スチールコンテナ1基あたり、次の仮渡金を支払いすることで承認されました。

○男爵 50,000円

○トヨシロ 45,000円

○支払期日 10月25日付

5. 平成30年産小麦の概算精算について

原案の通り概算精算することで承認されました。

6. 組合員の土地評価額について

原案の通り設定することで承認されました。

〈報告事項〉

1. 内部監査報告について

2. 固定資産の取得について（100万円以下）

○名称 非常通報装置

3. 平成29年産加工生食馬鈴薯本精算について

4. 平成30年畑作構造転換事業の入札結果について

5. 道常例検査について

6. 組合員の加入について

行事予定表

12月1日(土)～12月31日(月)

12月1日(土) 閉組日

12月22日(土) 閉組日

12月3日(月) 小豆生産組合道内研修～12/6

12月23日(日) 天皇誕生日・農休日

12月5日(水) 加工馬鈴薯生産組合道内研修～12/7

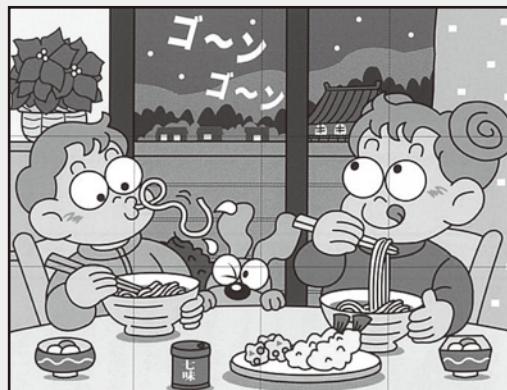
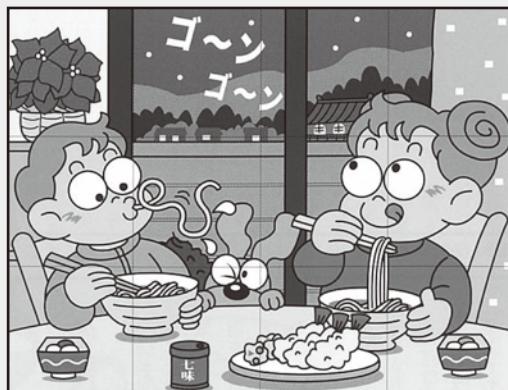
12月24日(月) 振替休日

12月8日(土) 閉組日

12月25日(火) 第11回定例理事会

12月15日(土) 閉組日

12月28日(金) 一般業務・信用部仕事納め



まちがい探し



応募方法

答えが解った方は、別紙の応募用紙に答えの番号と広報誌へのご意見・ご感想を記入の上、FAXにてご応募下さい。

抽選で、明治のR1とお菓子セットを1名にプレゼントします。

先月の当選者・解答

11月号のクロスワードパズルの答えは「パンシュウ」でした。抽選の結果、次の方が当選しました。おめでとうございます。

安藤 志津子さん（共立）※（ ）内は地区名です。

右のイラストには左のイラストと違う部分が5ヵ所あります。間違っている部分を左下の枠内の数字を探しましょう。

読者の声

★いつも表紙に誰が載るのか楽しみにしています！

(豊川地区・近藤 凜香さん)

★家族みんなでクロスワードパズルを楽しみました。

(匿名希望)

J A と こ ろ 創 立 70 周 年 記 念

常呂厚生病院・特別養護老人ホームところへ物品を寄贈

常呂厚生病院には電子血圧計が
寄贈されました
(前列中央が山下昇史院長)



電子血圧計は病院来院者が待ち時間に利用でき、バスタオルは老人ホーム入所者介護用に使用されます。

J A ところ（川上和則組合長）は、11月19日（農協法公布記念日）、常呂厚生病院・特別養護老人ホームところへ、JA ところ創立70周年記念として物品を寄贈しました。

関係機関に対し日頃の事業運営に感謝すると共に、組合員・地域利用者の皆様に役立てていただきごと常呂厚生病院へ「電子血圧計」、特別養護老人ホームへ「バスタオル70枚」を贈呈しました。



●老人ホームにはタオルが寄贈されました(前列左が武田美都子施設長)



●一斉捕獲に参加した皆さん

北見市獣友会は11月11日、北見市エリアで有害鳥獣の一斉捕獲を実施し、常呂自治区エリアは同会常呂分会の会員13人が出動しました。近年有害鳥獣による農作物被害が多発しており、こうして被害軽減として非常に重要な位置付けとなつております。今回の捕獲対象は主に鳥や小動物が対象となつており、カラス13羽、ハト6羽、キツネ1頭を捕獲しました。

**有
害
鳥
獣
一
斉
捕
獲
を
実
施**

編集後記

- 広報も12月号となり、本年も残すところ1か月となりましたね。新年を新しい気持ちで迎えられるよう大掃除、整理整頓をしっかりと行いましょう!
- 本年も「光と風の大地」の発行にあたって、組合員皆様を始め、大勢の方々の取材協力をいただくことで作成することができました。来年も組合員皆様に親しまれ、読みやすく興味を惹ける誌面づくりに努めたいと考えておりますので、何卒宜しくお願い致します。
- 《當農企画課:広報担当》

成年企画 ワンだぶるファミリ~

共立地区の森脇さんとサクラ、大友さんとマルス

今月の表紙は、左から共立地区の森脇久幸さんとサクラ(10♀)、大友征子さんとマルス(15♂)です。

サクラとマルスは、住んでいる所は近いものの、会うのは今日が初めてでした。サクラはとてもマルスに興味津々で元気よく挨拶をしていましたが、それがマルスには少し怖いようでした。

撮影するにあたって、犬同士の相性が合うか心配していましたが、仲良く撮影を終えることができました。これから散歩のルートに2匹の再会コースとして新たに加えていただけたらと強く願っております。

農作業でお忙しい中、撮影にご協力いただきましてありがとうございました。

なお、好評であった成年企画は今月号で終了となります、次号以降は別企画の表紙を予定しておりますのでよろしくお願いします。



初対面で興奮気味な
わんこたち